

2024年8月吉日
サーモス株式会社
トヨタアルバルク東京株式会社

トヨタアリーナトウキョウ
**アルバルク東京の新ホームアリーナ「TOYOTA ARENA TOKYO」の
「工事現場の技能者への水筒 贈呈式」を実施**
熱中症リスクが高い建設業界（※1）の水分補給を支援
夏の水分補給に適した飲みものの温度帯「5℃～15℃」（※2）を長時間キープする水筒を贈呈

魔法びんのグローバル企業として、人と社会に快適で環境にもやさしいライフスタイルを提案するサーモス株式会社（本社：東京都港区、社長：片岡 有二、以下：サーモス）は、「SDGsパートナー」契約を締結しているトヨタアルバルク東京株式会社（本社：東京都文京区、社長：林 邦彦、以下：トヨタアルバルク東京）が2025年秋に開業予定のアルバルク東京の新ホームアリーナ「TOYOTA ARENA TOKYO（トヨタ アリーナ トウキョウ）」を建設中の鹿島建設株式会社（本社：東京都港区、社長：天野 裕正、以下：鹿島建設）の同工事現場に従事する技能者へ水筒（ボトル・ジャグ）450本を寄贈したことから、2024年8月1日（木）に贈呈式を実施しました。

当日は、贈呈までの経緯などについてサーモスより説明し、水筒と熱中症対策啓発ポスターを贈呈しました。



■水筒贈呈に至った経緯

水筒寄贈に至った経緯について「昨今は、酷暑が厳しく、特に建設業界は熱中症発生数が多い業界（※1）と伺っております。そこで、TOYOTA ARENA TOKYOの建設に関わっている皆さまに、私たちの製品をお役立ていただきたいと考え、今回の取り組みをスタートさせました。」とサーモス株式会社 社長室 ブランド戦略課 マネジャー 簗島 久男が説明。また、サーモスが実施している高温の環境での水分補給に5℃～15℃の温度帯を推奨しているプロジェクト「サーモス 5-15℃PROJECT（※3）」について説明し、飲みものの温度帯を5℃～15℃に長時間キープできるマイボトルを活用した熱中症対策の重要性を伝えました。最後には「連日、猛暑が続く予想がされているので、サーモスの水筒で水分補給をし、熱中症に気をつけながら安全に作業を行っていただきたいです。」と語りました。



サーモス株式会社 社長室
ブランド戦略課 マネジャー 簗島 久男

水筒の寄贈を受けた技能者からは「敷鉄板の上など、作業場によっては体感温度がとても高く感じる場合があります。サーモスの水筒は飲みものを冷たいまま長時間キープすることができて助かっています。現場に設置されている製氷機の氷とドリンクを入れて使用しているのですが、夕方まで氷が溶けていない日もあり、本当にありがたいです。」と語りました。

（※1）厚生労働省 令和5年「職場における熱中症による死傷災害の発生状況」より

（※2）環境省「熱中症環境保健マニュアル2022」

（※3）サーモス 5-15℃ PROJECT（サーモス ゴーイチゴ・プロジェクト）は、サーモスが行った実験で、高温の環境での水分補給に最適な温度帯は5℃～15℃であることが実証されたことから、熱中症対策に5℃～15℃の水分を補給することが効果的という情報を発信し、マイボトルの使用を推奨する取り組み。詳細：<https://www.thermos.jp/product/bottle/5-15project.html>

THERMOS
5-15℃
PROJECT

今夏は連日の猛暑日が続いており、高温下での建設作業が行われています。熱中症に注意が必要な期間中、工事現場内には、水分補給による熱中症対策ポスターを掲示し、夏場の水分補給の重要性を啓発しています。本取り組みを通して、建設業界における熱中症対策に貢献いたします。

SDGsパートナーであるトヨタアルパルク東京とサーモスは、マイボトル推進プロジェクト（※4）などを通して、今後もさまざまな取り組みを実施してまいります。

（※4）[マイボトル推進プロジェクト 2023-24 シーズン活動実績](#)



建設現場内に掲示されている
熱中症対策ポスター